



## 教育による地域と産業のレジリエンス 代表理事 安田 尚道

### 「ものづくり都市」日立？

日立市は自他共に認める「ものづくり」の都市ですが、産業構造が第二次産業から第三次産業へ移行するポスト工業化も着実に進んでいます。「国勢調査」によると、2000（平成 12）年、日立市に常住する市民のうち第二次産業の従事者は全体の 40%でしたが、2020（令和 2）年には 33%にまで低下しました。これに対して第三次産業は 57%から 63%に上昇しています。なかでも、医療・福祉が全体の 12%を占め、第三次産業のトップである卸・小売業（13%）に迫っています。気になるのは 2010（平成 22）年に 4.2%あった知識産業である情報通信業が 2020（令和 2）年には 3.9%にまで低下している点です。



### 子育て世代の減少

このポスト工業化なかで子育て世代と子どもの数が大幅に減少しています。日立市全体で 2000（平成 12）年と 2020（令和 2）年では人口が 9.7%減少しているのに対して、私たちが学習支援の対象としている 10 から 14 歳までの子どもたちは 27.7%の減少率でした。さらに、子育て世代、たとえば、35 から 39 歳の年齢層は 30.5%減少しています。子育て世代と子どもの大幅な減少は第二次産業の減少と無縁ではないでしょう。

### 高校入試倍率の 1 倍割れ

これを反映するかのよう、県北地域の県立高校は統廃合を繰り返しています。現在ですでに 10 校までに減少しています。それにもかかわらず、今年の県北地域の県立高校入試では高校として倍率が一倍を超えたのは日立第一高校と日立商業高校の 2 校だけでした。この倍率の 1 倍割れは大きなショックでしたが、子どもたちの学習への態度と学力の低下を引き起こしているとも考えられます。

### 子育て政策、教育政策、産業政策の充実を

これらの数値の因果関係を明らかにするのは難しいですが、これらの数字は日立市の強みである「ものづくり」と連携した知識産業のあり方を模索する産業政策、より子育てしやすい労働や生活に関わる政策、知識産業を担える子どもの学力と興味関心を醸成する教育政策、これらの必要性を示唆していると考えられます。私たちも公共を担う NPO として産業、教育、子育てについて広く市民や企業が何を考え、どうしたいのかをすくい上げ、政策と活動に結びつける必要があると考えています。

### 地域をレジリエンスする政策と活動

私たちが行っている学習支援やフリースクールはその一環です。私たちはこの活動により子どもたちが生き生きと暮らし、自分らしい将来を描けることを願っています。さらに、彼らが地域の産業と社会のたくましい担い手となることも期待しています。私たちの活動は教育を通じて産業と地域をレジリエンス（強靱化）する小さな一歩だと思えます。このようなことを意識したきめ細かい政策も行政には求められるのではないのでしょうか。



## 2023年度第22回 通常総会開催

本年度 with you の第22回通常総会を、2023年6月17日（土）午後3時15分から午後5時00分まで、日立シビックセンター会議室にて開催いたしました。正会員総数22名中、16名出席（本人出席8名、委任状4名、書面表決4名を含む）が出席し、全ての議案が承認されました。

ありがとうございました。

## 「ひたち未来アカデミア」

昨年度ひたち未来アカデミアを卒業した2名の生徒より、今年度も引き続き通いたいとの希望があり受け入れることといたしました。

現在は3名の中学生と2名の通信高校生が通っており、午前は勉強、午後は総合学習として学生や市民の協力のもと様々な体験学習を行っております。

5月1日：花植え体験



5月14日：eスポーツ

（常磐大学の学生企画）



7月8日：科学実験「野菜から色素を抽出しよう」

（茨城キリスト教大学の学生企画）



## ひまわりデイキャンプ

日程：第1回 7月22日（土）

場所：茨城の軽井沢キャンプ場

主催：「TRICOLOR」常磐大学・常磐短期大学

内容：シェルター作り、スラックライン、  
手作りハンバーガー、キャンプ飯、  
うちわ作り、ペットボトルで風鈴作り、  
かき氷、水鉄砲遊び等



## フードパントリーの開催

以下の皆様からのご寄贈によりフードパントリーを開催いたしました。無料塾の塾生家庭を対象に、お米や食料品、生活用品をお配りしました。

第1回：7月15日（土）

◆ フードバンク茨城 様

◆ NPO 法人おてらおやつクラブ 様

たくさんのご寄贈、ありがとうございました。



## 会員募集

- 正会員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円
  - 賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上  
団体 1口 10,000円を1口以上
  - 情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円
- ※詳細は事務局にお問い合わせください